地域とともにある学校づくり 学校支援だより

令和8年10月発行　上田市教育委員会　学校支援プロジェクト会議

８月と９月に開催した学校支援プロジェクト事業の概要をお知らせします。どちらも大変有意義な会でした。各校、各地域の「地域学校協働活動」の参考になれば幸いです。

①コミュニティスクール・学校支援ボランティア交流会

８月１８日、塩田公民館でコミュニティスクール関係者の交流会を開催しました。市内の30の小・中学校の先生方・運営委員・ボランティア**95名**が集まり互いの活動について学び合いました。

事例発表

①東塩田小学校

「コミュニティルームはじめました！」
～ルームで児童・先生方・地域がつながる～


コーディネーター吉池さん


東塩田小学校長　徳嵩さん

今年度から始まったコミュニティルームに児童や地域の方々、先生方が集まり活動が広がっている事例

②塩田中学校

「地域と学校はパートナー」
～しおだっ子応援団とともに生徒をはぐくむ～


塩田中学教頭　中島さん
コーディネーター田口さん

「楽しい」を原動力に笑顔で活動している応援団の存在が生徒の安心感に繋がっている事例

参加者の感想

- やれる人がやれるときにという雰囲気が良い。
- 先生の困り事をボランティアに相談したことで活動が広がり解決でき、次へと繋がっていく取り組みが素晴らしいと思いました。

- 学校と応援団との信頼関係が素晴らしい。
- 応援団の活動の充実は「楽しい」が大切だと学びました。

あそびプログラム

「コミュニケーションあそびプログラム」

講師　あそび心BASE アフタフ・バーバン信州
理事長　清水さん

参加者の感想

身体を動かしながら言葉を交わすことが人と人を繋げると実感しました。





グループトーク

活動の内容別に１５のグループに分かれ情報交換をしました。



熱い思いを共有しました！

立場が異なる方々のお話を聞き、ボランティアの意義や課題について、振り返る機会となりました。

それぞれに抱えている課題が異なりますが、思いは共通しているとわかり励みになりました。

学校教育の中で今まで自分が見えていなかった部分がたくさんあることに気づきました。

学校と地域で子どもたちを育てていく気持ちを大切にしていきたいと思いました。

② コミュニティスクール講演会

９月２８日 サントミューゼ　小ホール

「未来のこのまちを担うのは誰か～今こそコミュニティスクールに向き合うとき～」

講師　小西 哲也さん（文科省CS推進名誉マイスター、下関市立大学特命教授）

市内外から**118**名が参加しました。諸外国や日本の状況を交え、広い視点から、コミュニティスクールの重要性と可能性について学びました。今後どのように取り組んでいくか、あらためて考える良い機会になりました。







講演の概要

・情報化社会・ＡＩ時代の今必要な力とは何か
・生きる力、まちを育てる力をどう育むか
・非認知スキルの育成には地域の力が必要
・まちの未来を担うのは子どもたち
　地域の課題をまんなかにして子どもと大人で一緒に考えることが、子どもの当事者意識の醸成に繋がる
・社会に開かれた教育課程は「地域とともにある学校」から「学校を核としたまちづくり」へ
・まちの未来を託される誇りを子どもらに育む
　上田市の子どもは上田市のみんなで育む
　今こそコミュニティスクールに向き合うとき

・「大人の人生を浴びる」「かかわりしろ」が故郷の元気を再生する等、素晴らしいアドバイスをいただき、今後の活動に生かそうと思いました。

・停滞感を感じながら活動していましたが、お話をお聞きし、さらに発展させていこうという勇気が湧いてきました。

・何ができるか、具体的に分かりました。課題を子どもと共有する、そして動く、大人の仲間を集めて始めたいです。

本紙を最後までお読みくださりありがとうございます

★他校の活動を見学したい！
★他校のボラと交流したい！
★自校で研修をしたい！
★コミュニティルームをつくりたい！

生涯学習係に御相談ください

出前講座もあります

★お問合せ先
生涯学習・文化財課
☎　0268-23-6370
メール
shogaku@city.ueda.nagano.jp

学校支援関係の市のHP ↑